

表 9-高 E.FORUM スタンダード (第 1 次案) : 高等学校英語 (赤沢真世編集)

包括的な「本質的な問い」:

- ・英語を通して他者とのよりよいコミュニケーションを図るには、どのようにすればよいのか。(コミュニケーション能力)
- ・英語(外国語)や異文化を学ぶことの意味や魅力とは何か。(言語理解、異文化理解)

領域	読むこと(Reading)	聞くこと(Listening)
領域の本質的な問い	書かれたものの主張や思い(概要、あるいは詳細を)を効果的に読み取り、理解するにはどうしたらよいのか。	話された内容を適切に聞きとり、それに応じられるようにするにはどうしたらよいのか。
レベル 4	本質的な問い	まとまりのある英語(事物に関する紹介や対話)を聞いて、概要や要点を適切に聞き取るにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	繰り返されるキーワードや文を的確にとらえ、主題と詳細情報を区別しながら聞くことが大切である。また、 接続詞を意識して文と文・段落間のつながり を意識的に聞き取る必要がある。
	課題例	「一番良い携帯電話を買おう」 あなたは、新しい携帯電話を買いたいと思っています。3つの会社の新商品のPRを聞いて、それぞれの携帯電話の特徴や優れた点を聞き取り、一番欲しい携帯電話を買いましょう。なぜその携帯電話が欲しいと思ったのかという理由も、後でペアの友達に伝えましょう。
レベル 5	本質的な問い	ある程度の長さの報告から主題を掴んだり、複数の話題が含まれた話や討論から、話し手の意向や立場を的確に捉えるにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	本文の中で重要な部分とそれ以外を区別したり、概要や要点を把握するのか、必要な情報を探すのか、あるいは詳細を理解するのかといった目的に応じて速読や精読といった読み方を工夫することが必要である。自分の意見と比較しながら読むことも重要である。
	課題例	「議論を聞こう」 あなたは友達の議論を聞いていて、最終的な判断を任されています。「優先席にすわってもよいのか」というのが議論のテーマです。それぞれの主張、根拠、例をしっかりと聞いて判断を下してください。途中で主張や内容がわからなくなったら話し手に質問したり聞き返したりしましょう。
レベル 6	本質的な問い	アカデミックな主題について書かれた文章(論説文や新聞など)の要点を読み取るにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	未習語に出会っても辞書なしで類推しながら読むこと、専門用語については辞書を効果的に用いて理解し、読み進めることが重要である。さらに、読みながら自分の意見と比較しながら批判的に読んでいくことが必要である。
	課題例	「アウンサン・スーチー氏のノーベル平和賞受賞スピーチ」 スーチー氏が〇〇高校を訪問することとなり、訪問された際に皆さんからメッセージを送りたいと思います。そこで、氏がノーベル平和賞を受賞した際のスピーチを聞き、ミャンマーの現状や氏が平和に対してどのような思いを持ち、行動してきたかを理解することが必要です。分からない単語があっても、事前に配布した資料や話の前後関係から推測し、内容を把握しようとする。4。

1 京都府立園部高等学校英語科『ことばのカプロジェクト 2010 年度報告書』、18-20 頁(物語の朗読の実践)、28-31 頁(高小連携の実践)を参照。

2 「E.FORUM Online (EFO)」(以下、「EFO」と示す)(<http://efo.educ.kyoto-u.ac.jp/>) unit302 より引用。

3 京都府立園部高等学校英語科、前掲書、100 頁の和気秀美先生の実践をもとに(前半部分)、赤沢が加筆。

4 京都府立東舞鶴高校『平成 24 年度英語力を強化する指導改善の取組報告書: 京都グローバルコミュニケーション校実践報告』88 頁を参考に赤沢が作成。

領域	話すこと		書くこと
領域の本質的問い	【情報のやりとり】 対話したり回答したりするにはどうしたらよいか。	【表現】 自分の考えや気持ち等を伝えるにはどうしたらよいか。	情報や自分の考え・思い等を書くことによって伝えるにはどうしたらよいか。
レベル4	本質的問い	自分の考えを効果的に述べ、 相手の理解を得る ためにはどうすればよいか。	読み手や状況に応じて 自分の考えや思いを効果的に伝えるにはどんな工夫が必要か。
	永続的理解	内容を論理的に構成したり、客観的な事実と意見を区別することが必要である。 相手の理解を促す ためには、表現を適切に変えたり、適切に間を空けたりする。	5W1H を意識し、根拠や理由、経験や事実を 区別して 記述する。また、読み手や状況によってより 適切な表現を選択 することが重要である。
	課題例	「ディベート which Do you Like better, Summer or Winter?」 あなたは米国ミシガン州にホームステイしています。そして、ホストファミリーの子どもが通う学校を訪問します。自己紹介が終わり、学校所在地の様子を季節の移り変わりと共に説明しました、あなたの話に興味をもった子どもたちは、日本の夏か冬のどちらが好きかについてディベートをすることになりました。あなたは夏/冬のどちらの立場でも、その良さを語る必要があります。(植田則康先生)	「外国人向け日本生活マニュアルを作ろう」 福岡では、APCC(アジア太平洋子ども会議)が毎年開催されています。そこで、福岡にやってくる沢山の子どもたちのために、日本の生活習慣を書いた「日本生活マニュアル」を作成することになりました。海外の子どもたちが戸惑うであろうことを予測して、グループで役割分担を決め、作成しましょう。(中村国広先生)
レベル5	本質的問い	与えられた条件(話題、時間、場面、相手)に応じて 伝えたい内容を伝えるにはどうしたらよいか。	読み手や状況に応じて、 まとまった分量 の自分の考えや気持ちを効果的に伝えるにはどのような 文章構成 が必要か。
	永続的理解	話題や話す時間、場面や話す相手、あるいは目的に応じて、 話す内容、話し方を適切に選ぶ こと、また聞き手が理解しやすい 構成 にすることも重要である。	書く目的や論点を明確にし、序論、本論、結論という構成を踏まえて、論理の一貫性を保ち、根拠や具体例、図表を的確に含めて書くことが重要である。
	課題例	「ディベートの総括」 あなたはディベートを行っているクラスの英語の先生です。ディベートの両立場の意見を踏まえて、3分で総括を行ってください。その場合には、生徒向けに平易な英語を用いて、わかりやすい構成を心がけるとともに、勝敗のポイントが明確な総括にしなければなりません。	「Country Project」 世界には様々な国がありますが、私たちは身近な世界しか知りません。そこで自分にとって未知の国を一つ選び、その政治・経済・文化・風土について調べてください。次に調べた情報を概観し、何かに重点を決めて情報を英語で整理して壁新聞(模造紙サイズ)を作ってください。日本との比較や英語の注釈などの工夫もして、発表を聞く人が世界観を広げることができるような発表を英語でしてください(発表時間は質疑応答含めて15分)。(田中容子先生)
レベル6	本質的問い	自分の意見を説明・主張するだけでなく 相手の主張も受け入れ会話を積極的に行う(結論づける) にはどうしたらよいか。	アカデミックな主題、時事・社会問題 についての文章(小論文や報告)を書くにはどうすればよいか。
	永続的理解	自分の主張を明確に伝えるのみではなく、 相手に積極的に質問したり相槌を打つ などしながら相手の主張の要点を正しく捉え、合意できる提案を行うことが必要である。	しっかりした論理構成(序論、本論、結論など)で、その主題に応じた専門的な用語や適切な 文体を意識して書くことが必要である 。
	課題例	「ごみはゴミ箱へいれましょう！」 ¹⁰ ポスターを見ながら、友達と日頃不満に思っていることについて話が始まります。「これは聞いてほしい！」という具体的なエピソードを、「いつ」「どこで」「誰が」「どうした」ということと、その結果「どういう気持ち」になったのかをできるだけ詳しく話しましょう ¹¹ 。相手の話を聞くときは、相槌を打つだけでなく、積極的に質問をして相手から話を引き出しましょう。休み時間の会話なので、4分間話し続けてください。(高橋恵子先生)	「新聞への投書」 あなた達グループは、自分達が暮らしている地域における時事問題・社会問題(たとえばゴミ問題)に関して、改善するための要望を発信したいと考えています。そこで、新聞の投書欄に意見文を送ることにしました。しっかりとした論理構成や語句、文体を考慮して、意見が明確に伝わるように工夫して書きなさい。

5 植田則康「ルーブリックを用いた検討会に「コミュニケーション能力の育成 単元「ディベート」」西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価』学事出版、2009年、126-137頁。

6 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM『「スタンダード作り」基礎資料集』(以下、『基礎資料集』と示す) 2010年、226-227頁。

7 『基礎資料集』232-233頁。

8 以下を参照し赤沢が修正。阿部邦彦「高等学校外国語科におけるコミュニケーション能力の育成を目指した単元設計の在り方—明確な Learning Outcomes を出発点にして—」『山梨県総合教育センター研究紀要』平成22年度、12-17頁 <http://www.ypec.ed.jp/center/kenkyukaihatu/22/kiyou/h22kiyoucdf/22kiyoupdf/abe.pdf>

9 「EFO」 unit267より引用。

10 「EFO」 unit249より引用。

11 この課題においては、事前に同様の内容についての英作文の課題に取り組んだ上で、メモを見ずに対話することが求められた。4分間の対話は、相槌やくり返し、聞き返し、意味の確認などが含まれており、英作文で表現する内容に換算すると15~20文程度となる。